

睦沢町 健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画

## 第5章 計画の推進

## 第5章 計画の推進

### 1. 計画の推進体制

「健幸を守る」という考え方から、「自分の健幸は自分でつくる」という考え方にかわり、一人一人が日常生活の中で、積極的に健幸づくりや食育の推進に取り組んでいくことが大切です。

#### (1) 家庭の役割

家庭は、生活するうえでの最も基礎的な単位であり、家庭生活を通じて、主な生活習慣を身につける場となります。乳幼児から高齢者に至るまで、すべてのライフステージにおいて、正しい食習慣や生活習慣、運動習慣を身につけていくことが大切です。

#### (2) 地域の関係機関の役割

地域で活動している保健栄養推進員は、健幸づくりや食育を推進していくうえで、大きな役割を担います。

#### (3) こども園・学校の役割

こども園、学校は子どもたちが家庭に次いで多くの時間を過ごす場所であるため、子どもたちの健康管理を行い、健幸を保持増進していくことが重要です。

様々な経験を通して健幸や食に関する知識を得ることができるように努めていく必要があります。

#### (4) 行政の役割

保健、学校教育、産業保健との連携をさらに深め、ライフステージによって途切れることなく、住民の健幸づくりと食育の推進を図ります。

## 2. 計画の進行管理

計画の着実な推進のため、計画を立案（Plan）、実施（Do）し、適切に評価（Check）、改善（Act）が行えるよう、循環型のマネジメントサイクル（PDCAサイクル）を構築します。

